

はじめに

『月刊学校教育相談』は1987年の創刊以来、学校現場で起こるさまざまな事象に対して、どのように理解し、どのようにかかわるか、具体的な情報をお届けしてきました。

本書は、それらの中から「このことを知って、子ども理解が劇的に変わった」「こんなふうにかかわればいいのか！ 目から鱗が落ちた」と好評で、しかも「シンプルな図」で表せるものを8つ厳選し、紹介するものです。第1部が「シンプルな図で理解が変わる！ かかわりが変わる！」、第2部が「シンプルな図で心理技法のエッセンスを！」という構成になっています。

シンプルな図を使っての解説は、ポイントが理解しやすく、記憶に残りやすいものです。また、子どもや保護者とのかかわりの最中にも、その図を思い浮かべながらかかわることが可能です。

本書を読まれてお気に入りの図が見つかり、子どもとの実際のかかわりに活かしていただけることを願っています。そして、子ども理解がより深く温かいものになったり、かかわりがより理論に裏打ちされた確実なものになったりする一助となれば幸いです。

2020年1月

『月刊学校教育相談』編集部